わがやのにんきもの

このコーナーでは、市内在住の1～3歳までのお子さんの写真に、お父さん・お母さんのコメントをつけて紹介しています。誕生日など、思い出の1ページとしていかがですか？
ご希望の方は、【秘書課・広報広聴係 ☎43-2112】までご連絡ください。

佐口 希空（のあ）ちゃん

則夫・滋子さんの三女　神明

希空に伝えたい事が1つあります。それは、「ありがとう!」の言葉です。
希空がいてくれるから楽しく過ごせる。笑うこともできる。怒ることも涙を流すことも･･･。
毎日楽しく過ごせるのは、希空のおかげです。
これからもずっとよろしくネ。頑張ろうネ。

椎名 爽人（さやと）・愛美（あいみ）ちゃん

隼人・幸江さんの長男・長女　前河原

いつも笑顔で元気な爽人くん。車と妹が好きでいつも一緒で仲良し。
お兄ちゃんになった爽人くんは、愛美ちゃんにいろいろ教えてくれたりします。いつも元気にダンスしたり、お歌を歌ったり、とてもにぎやかです。
これからもすくすく育ってね♡

米山 楓香（ふうか）ちゃん

真史・雪香さんの長女　前河原

ママがくしゃみをすると、「だいじょうぶ?」と聞いてくれたり、お風呂上がりのパパに、「パンツはいてー!」とパンツを渡してくれたりと優しい楓香♡
アンパンマンが大好きで、毎日アンパンマンとバイキンマンのお人形と一緒に寝ています。

わたしからあなたへ　さわやかリレー vol.130

前回登場の簗嶋尚文さんからの紹介

石嶋 秀浩 さん（本宿町）

「帰郷してから10年で感じたこと」

今年の8月でちょうど10年になります。長いようであっという間だった感覚です。帰郷した当初は、あまり馴染めず、休みの度に上京していたように思います。
ある時、下妻市で商売している縁があり、下妻市商工会青年部に入会しました。
青年部活動を通じて砂沼桜まつり、多賀谷時代まつり、花とふれあいまつり、小貝川フラワーフェスティバル、砂沼フレンドリーフェスティバルなどの市内イベントの楽しさやスタッフの人たちの大変さを見てきました。加えてイベントのお手伝いをしていく中で、多くの知り合いや素晴らしい仲間ができました。
よく分かりませんが、これから人口減少社会に突入します。私たちの下の世代は、より一層、外（国内および海外）に飛び出して行きます。そんな時、いつでも受け入れる温かい居場所（地域）になればいいと思います。そのために青年部活動とともに地域のお手伝いに微力ながら貢献したいと思います。

有料広告欄

From SHIMOTSUMA みんなのギャラリー

口頭詩　子どもの純粋な心のつぶやき

よしかわ ゆり
3歳11カ月時点
（大和保育園）

きいろいはっぱ

わー
おっきなきに
きいろいはっぱがいっぱい
こっちには
きいろいはっぱが
いっぱいおちている
おおきいのもあるね
はーとのかたちのもあるね
おはな　みたいだね

【解説】
保育園の帰り道に大きないちょうの木があり、その木や、落ち葉を見て言った言葉です。見てみると本当にお花のようできれいでした。
採集　母　吉川　直子

西原保育園

ハロウィンパーティー♡

◀年長（ぞう組）の皆さん

自分の手形や足形を使ってさまざまなオバケ作りに挑戦した子どもたち。「かわいくしたいからリボンつけていい!?」「ふさふさの髪にしたよ～!!」と、それぞれのイメージを形にして素敵な作品ができました。「オバケと一緒にパーティーだ!!」

市民文芸

俳句

荒れ予報車庫へ抱きこむ菊の鉢　小竹　善文（五　箇）
立待月ホテルロビーの宴かな　塚田三樹子（下妻丁）
こゝにまた使はぬ畑猫じゃらし　神郡　貢（高道祖）
ふり返る月日一束秋深む　平石　律子（下　田）

短歌

門先の吾にほほ笑み「お早よう」と
元気をくれる学童の列　飯泉　淑子（原）
庭すみの小菊の開花に想い出す
左千夫の作の野菊の墓を　小竹　昌子（五　箇）
朝まだき新聞受けに落ちる音
聞きて眠りにまた引き込まる　神郡　亜佐（高道祖）
幾ばくもの琉球朝顔咲ききそふ
市役所の窓に藍ふかみゆく　関　千代子（下妻乙）
空想は楽し湯船に浸りつつ
未知の世界をしばしば描く　木村　りん（下妻乙）
汲みおけるバケツの水が囲ひをり
ひと肌ほどのゆきあひの空　寺田　陽子（下妻乙）
※ゆきあひ（行合い）の空…夏と秋の混じりあった空

有料広告欄